

平成 30 年度レベル別教育プログラム

対 象	研 修 名	研 修 目 標	講 師	日 時
レベル 1	*新人看護職員対象：入職時研修	*看護部の一員として自己の役割を果たすために必要な知識・技術を習得する	別紙 「研修内容」参照	4月5日(木)6日(金)
	*感染予防対策 I	*当院の標準予防対策、経路別予防対策を理解する *標準予防対策を実施できる	認定看護師 井上師長	4月12日(木) 9:00~12:30
	*医療安全管理 I 「事故防止・事故発生時の対応」	*事故防止のための基準・手順・マニュアルを理解する *事故発生時に適切な行動ができるように院内規程を理解する	医療安全管理者	4月13日(金) 9:00~11:00
	*安全確保の技術 転倒・転落予防	*転倒転落の発生機序と当院の予防対策を理解する *当院の転倒・転落のアクシデント事例と分析結果を知る	医療安全管理者	4月13日(金) 11:00~12:30
	*診療情報管理 I 「看護記録」	*看護記録関連の規程から看護記録とは何かを理解する *看護実践を証明するための記録をどう書くか理解する	清水師長	4月13日(金) 13:30~15:00
	*災害時の対応	*火災・地震・停電などの災害時にリーダーの指示を受けて行動できる	基準委員長	4月13日(金) 15:00~16:00
	*注射の基本 (皮下・皮内・筋肉内注射・静脈血採血) *輸液の管理 *輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いと管理 *検体の取り扱い	*安全に注射を行うための知識・技術を習得する *輸液ポンプ・シリンジポンプを正しく操作するための基本的知識、技術を習得する *輸液療法が正確に実施されるために必要な知識・技術を習得する	学研講義活用 教育担当者 検査課技士長 臨床工学技士長	4月19日(木) 9:00~17:00 20日(金) 8:30~12:30
	*正しい薬品・血液製剤の取り扱い	*麻薬、危険薬、血液製剤を正しく取り扱うための知識を習得する	薬剤師 学研講義活用 輸血療法委員会	4月20日(金) 13:30~15:30
	*糖尿病の病態生理・治療・看護	*糖尿病の病態生理・治療・基本的看護を理解する *血糖補正の目的と方法について理解し安全に実施できる	糖尿病療養指導士 遠藤係長	4月20日(金) 15:30~16:30
	*フィジカルアセスメント I 「対象の身体を診る」 注) 教育担当者も受講、各部署で伝達講習実施	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができる	教育担当者 ICU・3HCU・OP 学研講義活用	4月27日(金) 9:00~12:30
	*赤十字と看護倫理 I 「基本原則の理解」	*倫理的ジレンマに陥ったときに活用するために、看護者の倫理綱領と赤十字の基本原則について理解する	新野看護副部長	4月27日(金) 13:30~16:00
	*NANDA 看護診断	*NANDA看護診断の基本を理解する	清水師長	5月10日(木) 9:00~12:00
	*摂食・嚥下障害の看護	*患者が安全に食事摂取できるように、患者の食べる機能をアセスメントし、適切な食事援助方法を選択できる	学研講義活用 4A教育担当者 スタッフ	5月14日(月) 9:00~15:00
	*口腔ケア 「摂食・嚥下障害改善、合併症予防」	*口腔ケアの目的を理解する *最新の口腔ケアの技術を習得する	学研講義活用 6A・6B 教育担当者 RSTスタッフ	
	*心電図モニター (12誘導含む)	*心電図、心電図モニターの特性を理解し記録することができる *生命に関わる重症不整脈を理解する	学研講義活用 4B教育担当者 スタッフ	5月18日(金) (昼休みを挟む) 9:00~17:00
	*気管内吸引 *導尿・尿管留置 *浣腸 (グリセリン・高圧浣腸) New	*根拠に基づいた安全な気管内吸引ができる *根拠に基づいた安全な導尿・尿管留置ができる *根拠に基づいた安全な浣腸ができる	学研講義活用 5A・5B・7B 教育担当者 スタッフ	5月21日(月) 9:00~16:00
	*急変時の対応 *気管内挿管の準備と介助	*救急カート内に整備しておくべき備品が分かる *急変時の自分の役割が分かる *気管内挿管の準備と介助が出来るよう知識・技術を習得する	学研講義活用 7HCU・3HCU・ICU 教育担当者 専門看護師 スタッフ	
	*ローテーション研修 オリエンテーション	*ローテーション研修の内容を理解し、研修に必要な事前準備ができる	ICU(HCU)/救外 /手術室 教育担当者	5月21日(月) 16:00~17:00
	*リフレッシュ研修：PART I	*自分自身の思いに気づくことができる *他者の思いを知る *今後、自分がどのように行動したらよいか考えることができる	各部署 教育担当者	5月25日(金) (日程は別途配付)
	*人工呼吸器の取扱い	*人工呼吸器を使用する患者の人工呼吸管理を安全に行うために器械の特性と取り扱い上の留意点を理解する	学研研修活用 臨床工学技士	6月4日(月) 14:00~16:00

	* スキンケア 最新の褥瘡ケア（皮膚・排泄ケア）	* 最新の褥瘡ケアの知識・技術を習得する * 適切なテープ、被覆材の選択とスキンケアの方法を理解する	学研講義活用 認定看護師 小松係長 褥瘡委員	9月10日（金） 13：30～16：30
	* 静脈注射レベル1～3 注：レベル3は末梢静脈注射留置針挿入まで実施する	* 静脈注射の実施基準を理解する * 静脈注射の実施基準に沿って安全に実施できる * 各レベルの実技試験に合格する	学研講義活用 各部署の 教育担当者	7月27日（金） 確認試験 （9月7日実施）
	* <b>必須</b> 各部署で企画した学習会に出席し 学習することがレベルIの認定条件	* 部署における代表的な疾患の病態生理・治療・看護について理解し活用できる	（講師の条件）レベルII以上の認定者	各部署で7月までに実施すること
	* 看取りのケア	* 亡くなられた方の尊厳を守りながら死後のケアが適切にできる * 亡くなられた方の重要他者の気持ちに配慮したケアができる	学研講義活用 7B・4A・新生児 教育担当者 スタッフ	8月3日（金） 9：30～12：30
	* リフレッシュ研修：PART. II	* 同期の仲間とゲーム等しながら語りリフレッシュする * 半年間の成長をお互いに認め合う	各部署の 教育担当者	9月7日（金） 9：30～12：30 8：30～9：30 （注射の確認試験）
	* 多重課題シミュレーション PART. I <b>事前に学研の講義を視聴しておく</b> 注：静脈注射確認試験を合格・修了していること	* 夜勤業務自立向け、多重課題に取り組むことができる * 多重課題を達成するための自己の課題を明らかにする	教育担当者 新人看護職員 研修運営委員長	10月3日（水） 10月4日（木） 8：30～12：00
		* 自部署で受け持ち患者に行った看護実践をもとに、半年間の自己の看護を振り返り看護観を深める	教育担当者 新人看護職員 研修運営委員長	10月4日（木） 13：00～17：00 自部署で実施
	* がん対策基本法と当院の役割	* がん対策基本法とがん診療連携拠点病院の役割を理解する * がん相談支援センター利用者の相談内容を今後の看護に活かす	患者支援センター	11月2日（金） 13：30～14：30
	* キャリア開発ラダー説明会	* キャリア開発ラダーの目的を理解し、必要な準備を行なうことができる	キャリア開発ラダー 一副委員長	12月5日（水） 11：30～12：30
	* 「静脈注射 レベル3」	* 化学療法（抗がん剤）、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する * 静脈内留置針挿入の技術を認定看護師に確認してもらい、自己の課題を明らかにする	認定看護師 教育担当者 6A・6B	3月 日（ ） 8：30～14：30
	* まとめ研修 「ナラティブ発表会」	* この1年で自分の心に残っている看護の体験を語る	教育担当者 新人看護職員 研修運営委員長	3月 日（ ） 10：30～16：30
<b>対象</b>	<b>研修名</b>	<b>研修目標</b>	<b>講師</b>	<b>日時</b>
レベル2	* 社会の変化と保健医療福祉・看護界の動向 <b>看護助手の参加可</b>	* 看護の対象を取り巻く社会の変化を理解する * 保健医療福祉、看護界の動向がわかる * 看護を取り巻く環境の変化に関心を持つことができる	看護部長	5月22日（火）
	* 診療情報管理II 効率的に看護記録を書くコツ <b>NEW</b>	* 診療情報管理について理解する * 看護記録の目的を理解し自身の課題を明らかにする * 客観的な記録を書くことができる	学研 基礎習得コース 各自で視聴	6月1～21日の間に 視聴・テストを受ける 6月の委員会に提出
	* 看護倫理II 「倫理的感受性を高める」 <b>NEW</b> 対象：赤十字の理念を理解している者	* 看護倫理の概要を学び、倫理的問題を客観的な視点で理解できる * 医療施設に勤務する者として倫理的問題に関心を持つことができる	学研 倫理コース 各自で視聴	4月1日～5月25日の間に 視聴・テストを受ける 5月の委員会に提出
	* 看護とコミュニケーションII <b>NEW</b> 看護実践に活かす！リフレクション	* 過去の経験から対象に看護を提供する上での姿勢を振り返る事が出来る * 看護者として必要な態度を養うことが出来る	学研 リーダー育成 コース各自で視聴	7月11日～8月24日の間に 視聴・テストを受け る、8月に委員会に提出
	* 後輩育成 <b>NEW</b> 新人&後輩看護師の学びを助けるコミュニケーションの極意	* 新人看護師・後輩看護師への学びを助けるためのコミュニケーションを学ぶことが出来る。 * 自己の傾向をしり、OJTに活かすことができる	学研 リーダー育成 コース各自で視聴	5月11日～6月22日の間に 視聴・テストを受け 、6月の委員会に提出
	* 災害看護I ・2回の研修のうち1回参加のこと （注）レベルII申請の場合、「救護員としての赤十字看護師研修」か「災害看護I」の受講必須	<b>1～3については各部署の管理者の講義を受けて参加すること</b> 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する * 演習：一次トリアージの知識と技術を身につける	中川師長 朝水係長	9月20日（木） 9：30～11：30 11月21日（水） 9：30～11：30
	レベル3 <b>対象限定</b> レベルIII 以上を めざす人 レベルIII 以上を申請	* 看護倫理III 「倫理的意思決定」 条件：「看護倫理II」受講済みの者 ・2回とも参加必須	* 看護倫理の概念、考え方を理解し、今までの疑問や倫理的な問題に気づき客観的に分析できる * 分析モデルを用いて臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	新野看護副部長
* 看護とコミュニケーションIII 「傾聴と質問」 ・2回とも参加必須		* コーチングの概念を理解する * 同僚の能力を引き出すための手法を知る * アサーティブコミュニケーションを理解する	菊地看護副部長	5月29日（火） 11月27日（火）

する者は 受講が望ましい	*保健医療福祉と診療報酬体系 <b>NEW</b> ここが変わった診療報酬	*国の保健医療福祉政策と看護関連の政策を理解する *診療報酬体系を学び、自分達の看護に結び付けて理解する。	学研 診療報酬コース	4月1日～5月25日 間に視聴・テストを受ける 5月の委員会に提出
	*リーダーシップとメンバーシップ <b>NEW</b> “リーダーシップ力”で組織の変革と発展につなげる ・2回目は実践報告	*自己のリーダーシップの取り方について考える *所属する職場の状況を分析し、課題を見出すことができる *職場のスタッフなどと課題解決の過程を共有できる *部署の業務改を行なう	1回目学研 リーダー育成 コース各自で視聴 2回目業務委員会	5月1日～31日の間に 視聴・チャレンジシート作成 12月7日(金)報告 14:30～15:30
	*ファシリテーションで人とのコミュニケーションを円滑に <u>学研のオンデマンドを視聴し部署でのカンファレンス、リフレクションでファシリテーターを実践し、その結果を部署の師長に紙面報告コメントをもらう</u>	*ファシリテーターの役割を理解し、能力の向上を図る *カンファレンスやリフレクション等の場でファシリテーターの役割を実践し、コミュニケーションをはかることができる	学研 リーダー育成 コース各自で視聴	4月1日～7月31日の間に視聴 8月1日から24日までに師長へ実践報告 8月に委員会に提出
	*災害看護Ⅱ 対象:「災害看護Ⅰ」を受講済みの者 ・2回の研修のうち1回参加のこと (注) レベルⅢ以上を申請する場合、 災害看護Ⅰ・Ⅱの受講必須	*災害サイクルに応じた看護活動について理解する *災害対応にかかわる組織・団体等との連携を理解する *災害の特性に応じた救護活動を理解する *演習:二次トリアージと外傷の応急処置の知識と技術を習得する (PAT法)	佐藤師長 今野係長 佐藤(ゆ)係長 五十嵐係長	6月15日(金) 13:30～15:30 10月30日(火) 15:00～17:00
<b>レベル4</b> 対象限定 レベル4以上 を旨とする人	*災害看護Ⅲ 「災害時のこころのケア」 対象:「災害看護Ⅰ・Ⅱ」を受講済みの者	*被災者・被災救護者に必要なケアの知識・技術を習得する *災害時の遺体ケアや遺族の心理的状態を理解し、看護職として必要な知識・技術を習得する *DMORTを理解する	大原師長 富樫係長	7月19日(木) 13:30～15:00
<b>全看護師</b>	*「静脈注射」レベル1～レベル2 *「静脈注射」レベル3(点滴静脈留置針挿入まで)	*日本看護協会の「静脈注射の実施に関する指針」に沿って、レベル1～3の知識・技術を習得する <b>(注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する</b>	新人看護職員研修運営委員会 医療安全管理者	新入職員研修に参加 4月19日・7月27日
	*「静脈注射」レベル3 麻薬・抗がん剤・循環動態に影響する薬剤 対象:「静脈注射」レベル1～2の研修修了者	*化学療法(抗がん剤)、循環動態への影響が大きい薬物、麻薬の静脈内投与を安全に実施するための知識・技術を習得する <b>(注) 過去にこの研修を受けていない者を対象に研修を実施する</b>	新人看護職員研修運営委員会、がん化学療法認定看護師	新入職員研修に参加 3月 日
	*新採用・全職員対象「BLS」	*BLS=Basic Life Supportの知識と技術を身につけることができる	日本ACLS協会 インストラクター	各自で申込み受講する
	*新採用・全職員対象「RRS」 <b>NEW</b>	*RRS=Rapid Response Systemの知識と技術を身につけることができる		各自で申込み受講する
	*看護技術を学び直そう 「ドレーン類挿入中の患者の看護」 <b>NEW</b> <b>研修受講者は、部署で伝達しOJTを行う</b>	*自分がこれまで実施してきた看護技術を見直し、確かなエビデンスを持ち、安全・安楽に実施できる *ドレーン挿入部・固定の観察、正しいダブルチェックの方法を学び、部署で実践することができる	基準委員会	7月12日(火) 13:30～15:00
	*退院支援・退院調整について	*患者支援センターに寄せられた患者・家族の意見、相談内容を自分の看護に活かすことができる。 *社会資源に関する知識を得て退院調整などに活用できる	患者支援センター 佐藤(陽)係長	9月13日(木) 13:30～14:30
	*関連部署での見学実習 <b>NEW</b> 経験年数:10年目程度 <b>研修受講者は、部署で伝達する</b>	*自部署と関連する部署での見学実習を行うことで、自部署での看護に活かすことができる	部署の管理者	実習先の部署と日時を相談し実施 実習時間は要相談
	*看護研究:初めての院内発表 <b>NEW</b> 院内発表につなげる気づき	*気づきから臨床研究につなげるために	学研 看護研究コース 各自で視聴	H30年4月1日から H31年3月31日の期間に視聴
	*看護研究:初めての学会発表 <b>NEW</b>	*看護研究とは?なぜ研究するのか? *研究デザイン・文献の読み方・研究テーマの絞り込み 倫理的配慮・研究計画書の作成等 全16シリーズ	学研 看護研究コース 各自で視聴	H30年4月1日～ H31年3月31日の期間に視聴
	*学会報告会・看護研究発表会	*看護学会・看護研究で得た知見を看護職員間で共有し、各部署で活かす	教育委員会	9月7日(金)14日(金) 3月 日( ) 日( )
*救護員としての赤十字看護師研修 <b>(注) レベルⅡ申請者は災害看護Ⅰに代わり 本研修の受講でも前提条件として認める</b>	*「救護員としての赤十字看護師」としての登録・任命に必要な知識・技術・態度を習得する	担当:看護部	5月～6月 研修計画書は別途作成・配布 救急法:(別途案内)	
*赤十字管理者 研修報告会	赤十字看護管理者研修Ⅰ ( ) 赤十字看護管理者研修Ⅱ ( )	*看護実践や看護管理に活用するため、研修参加者が学んだ知識・技術を共有する 注)今年度キャリア開発ラダー取得予定者は、いずれかに参加すること。	担当:看護部	月 日( ) 月 日( )
<b>対象</b>	<b>研修名</b>	<b>研修目標</b>	<b>講師</b>	<b>日時</b>
<b>対象別</b>	*フォローアップ研修 Part.1 卒後	*2年目の看護部教育計画を理解する *2年目の課題達成に向けて行動計画を立案する *「事例検討の進め方」について提示する	各部署の師長 係長・教育委員	各部署で実施

2 年 目 対 象	*リーダートレーニングステップ1 「はじめてのリーダー」研修	*リーダートの役割、リーダーに必要な知識・技術を理解する *リーダートレーニング論について理解する *当院や部署における各リーダーの役割を理解する	業務委員師長	H31年2月14日(木) 11:00~12:30
	*「事例検討」	*看護理論をもとに受け持ち患者の看護過程を展開する *フィジカルアセスメントを適切に行う *事例を通して自己の看護を振り返り看護観を深める	教育委員会	最終提出11月22日 事例検討は部署発表とする
	*「到達目標」の最終評価	*2年目の課題達成のための行動計画を自己評価し、次年度への自己の課題を明らかにする *2年目の面接までに実施する	提出先 各部署師長	提出締切り: H31年3月 日 ( )
	*平成30年度実地指導者フォローアップ研修 対象:平成30年度に新人看護師のプリセプターの役割を担った者	*実地指導者として新人看護職員に行った支援を評価し、自己の課題を明らかにする *7月以降の新人看護職員を支援する行動を見出すことができる	新人看護職員研修 運営委員長	5月9日(水) 7月6日(金) 13:30~15:00
	*平成31年度実地指導者研修 対象:平成31年度に新人看護師のプリセプターの役割を担う者	*来年度の新人看護職員研修の内容と自分の役割を理解する *「共に育ち合う」ことを念頭に、謙虚さを持って新人看護職員を支援ができる	新人看護職員研修 運営委員長	平成31年 2月28日(木) *来年度別途案内
	*教育担当者研修 Part.1 新人看護師と共に学ぶフィジカルアセスメント 「対象の身体を診る」 対象:平成30年度各部署教育担当者	*対象の疾患の病態生理・主な治療法・看護などの知識を活用し、フィジカルアセスメントができることを研修目標とした新人看護師研修に参加し、部署でのOJTに活用できる *本研修について学研のフィジカルアセスメントを各部署で視聴し、指導者全員が統一した方法で新人看護職員・他の職員の支援ができる	教育担当係長	4月27日(金) 9:30~12:30
*教育担当者研修 Part.2	*部署の看護職員に必要な能力を明確にする *部署の教育計画・OJTを評価し、次年度に向けて見直しをする *今年度の自己の課題と次年度の新人看護職員研修における自己の役割を明確にする	新人看護職員研修 運営委員長 教育委員長	平成31年 2月8日(金) 8:30~12:30	
* 看護 管理者	*昇任看護係長研修(名) (注)今年度昇任係長出席	*看護係長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は 別途作成・配付
	*昇任看護師長研修(名) (注)今年度昇任師長出席	*看護師長の職務について理解する *1年間のマネジメントの経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	研修計画書は 別途作成・配付
	*医療・看護の質と評価 NEW	*看護管理者が取り組む質の評価と改善方法について学ぶ	学研 看護管理コース 各自で視聴	8月11日~9月11日 までに視聴
	*インフルエンザ流行期の感染管理 NEW 看護係長・看護師長	*流行期、流行中に看護職員への働きかけを学ぶ *有症状発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理 認定看護師	11月9日(金)
	*救護員としての赤十字看護師長研修 「災害と看護管理」(PTTあり) (注)看護師長はレベルIIの災害看護I受講希望者に、各部署で以下について講義する。 1 災害発生状況と看護ニーズを理解する 2 災害サイクル別の災害看護活動を理解する 3 被災者特性に応じた災害看護活動を理解する	*災害各期における様々な状況下での看護管理者の役割を理解する *看護管理者として災害看護に関する実践的課題と今後の展望について考察する ・部署の災害・テロ・感染等の対策の仕組みを作る ・定期的な災害・テロ・感染防止の訓練を行い、スタッフの災害看護教育を行う。	看護管理者	ラダーの指標に沿って、 部署での教育計画を立案・実践する
	*看護管理者研修 「看護管理過程」 対象:管理者ラダー未取得の看護管理者 (注)講義はありません	*自部署の目標達成に向けて、管理課題を明らかにしたうえで、PDCAサイクルを回すことを意識し課題を達成する (ラダーの指標「管理過程」も参照にすること) 看護部で配布した書籍も活用すること *全看護管理者が管理者ラダーのレベルを取得することで、スタッフのラダー申請の動機付けとなることをめざす		実践計画に沿って申請する
看護助手	*看護補助者対象研修 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*医療制度の概要と当院の組織体制と機能 *医療チームにおける看護補助者の役割と業務、業務上の責任 *患者への対応と接遇 *医療における倫理と個人情報保護法遵守 *医療安全 *感染予防管理	学研講義活用 看護部 医療安全 感染管理	集合研修 6月1日(金) 6月21日(木) 14:30~16:30
	*看護援助技術 「移動のお世話」 ・オンデマンド視聴後に実技 ・2回の研修のうち1回参加のこと 参加必須	*看護助手として、対象に安全に援助するための技術を修得する ・ベット・ストレッチャー・車いすでの搬送時について	基準委員	集合研修 7月12日(木) 7月26日(木) 13:30~15:00

## 教育研修専門コース

分野	研修名	研修目標	講師	日時
がん実践 コース1	*化学療法を受ける患者の看護 ～アピアランスケアについて～ 対象：全看護師	*アピアランスについて理解できる ・がん化学療法の副作用に伴う外見変化と心身の苦痛を理解する ・外見変化に対する支援の方法を理解し、より良いケアが提供できるようになる	化学療法看護 認定看護師	8月24日(金)
	*つらさを知ってケアに活かそう！ ～全人的苦痛・家族ケアの アセスメントについて～ 対象：全看護師	*全人的苦痛の基本が理解できる *つらさのある患者家族をアセスメントできる	緩和ケア 認定看護師	各部署での学習会
	*がん患者の心理と危機的状況 －危機問題解決モデルを用いた理解と看護介入－ 対象：全看護師	*がん患者の危機的状況に敏感に反応し、すみやかに関わるための 知識と感性を養う *危機問題解決モデルを用いて、がん患者の心理・危機的状況と 看護介入を理解する	がん専門看護師	8月30日(木)
	*がん相談支援センターの役割を知って 看護をつなごう 対象：全看護師	*がん対策基本法に基づくがん相談支援センターの支援内容を理解 する ・病棟・外来での看護に活かす ・病棟・外来・がん相談との連携ができる	がん相談支援 センター	11月20日(火)
がん実践 コース2	*ケアする「私」のケアをしよう！ ～お互いを認め合う語り～ 対象：全看護師	*ケアの提供者が抱える感情労働について理解できる *語りを通じて看護師自身の感情の変化に気づくことができる	緩和ケア 認定看護師	9月28日(金)
救急看護	*患者急変対応の「気づき」 －RRSトレーニングの基礎知識－	*RRSの意味を理解する *急変への気づきを理解し評価できる。	救急看護認定看護師 急性重症患者専門 看護師	5月10日(木)
感染管理	*インフルエンザ流行期の感染管理 <b>NEW</b> 看護係長・看護師長 *看護管理者対象研修で実施	*流行期、流行中に看護職員への働きかけを学ぶ *有症状者発生時の対応と病床管理の考え方について学ぶ	感染管理 認定看護師	11月9日(金)
新生児 看護	*新生児と乳児の非侵襲的人工呼吸療法の看護 －NDPAPの看護のポイントを学ぼう－ 対象：新生児病棟・ICU看護師	*新生児と乳児の非侵襲的人工呼吸療法の管理と看護のポイントを 理解し、実践できる	新生児集中ケア 認定看護師	12月4日(火)
認知症 ケア	*認知症高齢患者のせん妄ケア 対象：全看護師	*せん妄を予防・早期発見し、重症化させない観察力と看護ケア のポイントを理解する事ができる	認知症看護 認定看護師	7月10日(火)
	*ストーマケアの基本と実践 *学研オンデマンド視聴後（ 当院の実際の使用物品を使つての演習 対象：全看護師	*基本的なスキンケアが理解できる *基本的なストーマ装具の取り扱いが習得できる	皮膚排泄ケア 認定看護師	10月29日(月)

受講にあたって必ず読んでください。

### 【受講にあたっての確認事項】

- ・組織において研修を実施した場合、研修評価は必ず実施します。(詳細は教育基準に記載しています)  
評価方法は、教育担当者師長が協議し決定します。 このことを了承し受講してください。
- ・受講希望の取りまとめは、基本的に1回です。「1年間に受講する研修を自分自身で計画するのが大人の学習です。」

#### 1. レベル別

研修についての基本的な考え方 (キャリア開発ラダーに対応した研修です)

- 1) 平成30年に新人看護師・新人助産師で採用された職員はレベルIの認定を受けてから上位のレベル認定をめざします。
- 2) 上記以外の職員は、必ずしもレベルIから申請する必要はありません。  
自分がめざすレベル達成のためにレベル別研修を受講してください。(全研修の受講は必要ありません)  
最初から高いレベルの研修を受講するのではなく、自分の目標達成に向けて計画的に学習してください。

#### 2. 他の研修についての考え方

- 1) 教育研修専門コースはより実践につながる研修にするために、専門分野に関心を持っている看護職員です。
- 2) 対象別の研修はその対象者に参加してもらう研修です。

#### 3. 研修の申し込みについて

部署の教育委員が受講希望者のとりまとめをしますので **4月27日(金)** までに申し込んでください。

(注：やむを得ない理由により追加参加をしたい場合は、教育委員長に相談のこと)

学会報告会、研究発表会、来年実施予定など、一部の研修は別にとりまとめをします

#### 4. 留意点

- 1) 受講申し込みをした研修には忘れずに出席してください。  
やむを得ず欠席する場合は担当者に必ず連絡してください。 **無断欠席は、関係者に迷惑をかけます。**
- 2) **受講者は、自分達で研修開始前に机・椅子の準備等を行い、時間通り研修を開始できるよう積極的に協力しましょう。**

研修時間は17時15分～18時15分

自分自身の看護実践能力を向上させ、対象に合った看護を提供し

自分自身も満足感を得るため、以下のシステムを活用して主体的に学習をしましょう！

\*学研ナースングサポートの研修は、お勧めです。平成30年度は院内のプログラムに関連した内容を各レベルのプログラムに取り入れています。自己学習の一つに活用してみてください

(事前登録必要・個人の使用料無料)